

[Strategic Targets for Activating Global Education '20]

都の長期計画(都民ファーストで作る「新しい東京」～2020年に向けた実行プラン～)で示された「Beyond 2020」を踏まえ、教育の視点から、グローバル人材が活躍する未来像を描き、その実現のための今後3年間の具体的施策をファーストステージとして示す。

・「東京都英語教育戦略会議報告書」をベースに、「新学習指導要領」などの新要素も組み込み、これまでの取組から今後の取組までを網羅した内容とする。

・計画全体の目標と事業ごとの個別目標を設定する。例：高校卒業時の英語力が英検準2級程度以上の生徒の割合 38.3%から 60%へ(全体目標)

英語科教員の海外派遣研修派遣者 140名/年(個別事業目標)

・都の目指すグローバル人材育成について、都民の理解を得られる、分かりやすい内容とする。

「東京グローバル人材育成計画'20(Tokyo Global STAGE'20)」の概要

《策定の目的》

東京でオリンピック・パラリンピック競技大会が開催される2020年とその先を見据え、成熟した都市 東京の姿と、そこにあるこれからのグローバル人材育成に向けた学校教育の在り方を明示

《具体的な計画構成》

【第I章：グローバル人材が活躍する未来像とそのファーストステージとしての3年間の取組】

- 1 東京や世界で、グローバル人材が活躍している未来像
  - (1) 五輪を経て、世界一の都市として成熟する東京
  - (2) 国際都市の特性を発揮し、日本の教育を先導する東京

2 平成32(2020)年度まで(ファーストステージとしての3年間)の取組

- (1) 「東京グローバル人材育成計画'20(Tokyo Global STAGE'20)」の策定と目的

◆育成すべき人材像

- ・社会や世界の動きを見通し、自ら人生をたくましく切り拓く人材
- ・日本の未来を担い、東京の発展を支え、リードする人材

◆本計画の目標

計画全体の目標を「生徒の英語力」「教員の英語力」「国際交流」に分けて設定

◆取組の方向性

教育ビジョンで定める三つの柱の実現に向けた方向性として「授業の質を高め」「学ぶ時間・機会を増やす」「学ぶ意欲を高め、学び続ける」

- (2) 「東京グローバル人材育成計画'20(Tokyo Global STAGE'20)」の体系図

一計画(素案)からの主な変更点について一

- 個別事業における新たな方向性の追加
- 都民の理解を得られる、わかりやすい計画というコンセプトからの修正(パブリックコメントの反映)

【第II章：育成に向けた20の施策】(別紙参照)

- 本計画の目標を達成するための20の施策に関して、これまでの動き、現状から見える課題、取組の方向性等の詳細を記載

【資料：東京都英語教育戦略会議報告書】

- 平成28年9月に公表した報告書の本文について参考資料として掲載

三つの柱

英語力  
国際感覚  
自覚と誇り

使える英語力の育成  
豊かな国際感覚の醸成  
日本人としての自覚と誇りの涵養

別紙

三つの柱を踏まえた20の施策		事業内容	三つの柱
1	小学校英語の教科化等への対応	ア 小学校における新学習指導要領実施に向けた支援	英語力
2	中学校における「わかる」「使える」を実現する英語授業の推進	ア 少人数・習熟度別指導の推進 ウ パフォーマンステストの普及・啓発	英語力
3	教員の英語力・指導力の底上げ	ア 指導力・英語力向上研修 ウ 中学校英語免許状の取得促進	英語力
4	最新の英語教授法の習得	ア 教員の海外派遣研修《教員・アウトバウンド》	英語力 国際感覚
5	ネイティブ・スピーカーの活用による授業改善	ア JET-ALTの配置《教員・インバウンド》 イ Non-JET ALTの配置	英語力 国際感覚
6	授業改善に向けた4技能評価の導入	ア 4技能を測定する外部検定試験の更なる活用（東京グローバル10・英語教育推進校）	英語力
7	英語での実践的な発話を体験	ア 東京都英語村「TOKYO GLOBAL GATEWAY」の整備	英語力 国際感覚 自覚と誇り
8	ICTを活用したスピーキング能力の向上	ア オンライン英会話学習 イ 音声リレーディングソフトによる学習	英語力
9	日常的に英語を使用する校内環境の整備	ア 「東京イングリッシュ・エンパワーメント・プロジェクト（Tokyo English Empowerment Project（TEEP）」の実施	英語力 国際感覚
10	日本や東京の文化・歴史等を英語で発信できる力の育成	ア 「Welcome to Tokyo」(入門編)の開発及び「Welcome to Tokyo」(入門、初級、基礎、発展編)の活用	英語力 国際感覚 自覚と誇り
11	持続的な国際交流の推進	ア 海外との学校間交流(姉妹校、フレンドシップ校等)の促進 イ 「Welcome to Tokyo 日本語版」を活用した交流 ウ 「国際交流コンシエルジュ」の創設	英語力 国際感覚 自覚と誇り
12	「世界ともだちプロジェクト」による交流	ア 「世界ともだちプロジェクト」による交流活動	英語力 国際感覚 自覚と誇り
13	同世代の外国人と交流できる環境の整備	ア 外国人留学生の受け入れ拡大《生徒・インバウンド》	英語力 国際感覚 自覚と誇り
14	海外留学への支援	ア 次世代リーダー育成道場《生徒・アウトバウンド》	英語力 国際感覚 自覚と誇り
15	国際貢献意欲の育成	ア JICAと連携した東京グローバル・ユース・キャンプ	英語力 国際感覚
16	「国際バカロレア」の取組	ア 「国際バカロレア」の取組	国際感覚
17	国際色豊かな学校の拡充	ア 新国際高校(仮称)の設置 ウ 都立中小高一貫教育校の設置	国際感覚
18	都立高等学校入学者選抜英語学力検査の改善	ア 4技能評価を取り入れた英語学力検査の入学者選抜への導入検討	英語力
19	海外大学進学希望者への支援	ア 教員への支援 ウ 進学に関するきめ細かい情報提供及び保護者向け説明会の実施	英語力 国際感覚
20	英語以外の外国語学習の充実	ア 多言語科目の授業設置の推進 ウ 体験研修(都教育委員会主催)の実施	英語力 国際感覚